

今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



その他情報も
HPで公開中!

生産抑制時の技術対策⑧

～エサの給与順番～

飼料の給与順番をちょっと変えるだけで、乳量・乳成分が向上するだけでなく、飼料費が削減できたり、乳牛の疾病を減らすことが可能になります。是非、皆さんの牧場でも飼料給与順番を確認し、改善に取り組んでみてはいかがでしょうか？

1 飼料の給与順番

朝一番に与えるエサは、唾液をしっかりと出すことができる粗飼料から！（図1）

- ①サイレージや乾草などの粗飼料
- ②ビートパルプやリンゴ粕などの中間飼料
- ③濃厚飼料

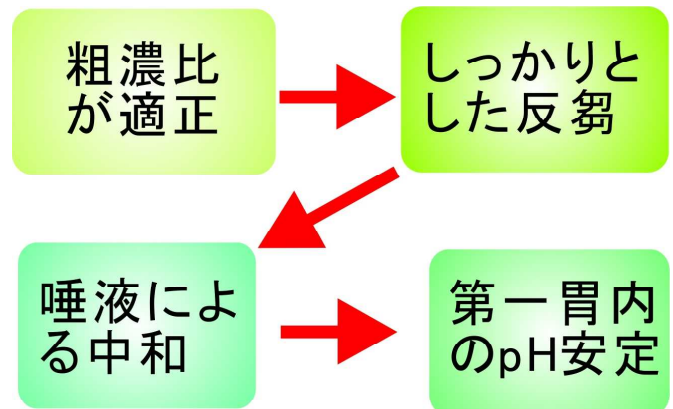


図1 反芻による第一胃内pHの安定

2 濃厚飼料の給与量と給与間隔

一回に与える濃厚飼料の量が多すぎると、第一胃内のpHが低下しすぎて、ルーメンアシドーシスの危険が高まります（図2）。

また、濃厚飼料の給与と給与の間隔が短い場合も第一胃内のpHを低下させる原因となりますので注意しましょう。

- ①一度に給与する濃厚飼料は3kgを上限とする
- ②濃厚飼料の給与と給与の間隔は3時間以上空ける

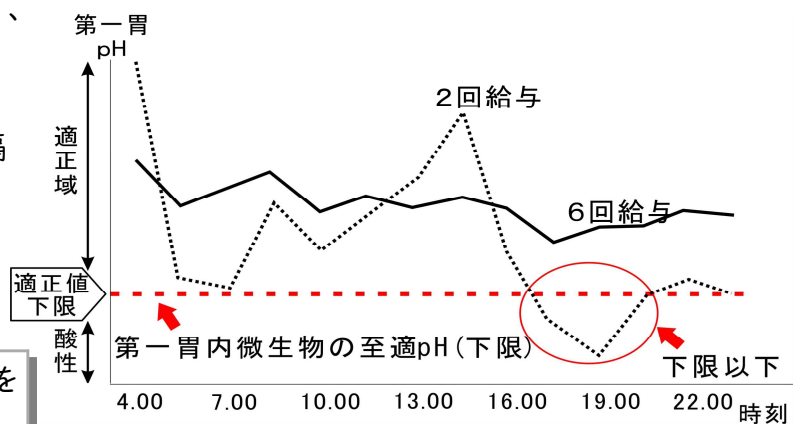


図2 濃厚飼料の給与回数と第一胃内pHの関係